

茅ヶ崎市とホノルル市・郡の姉妹都市交流

事業 分類	姉妹 都市	教育	文化	スポーツ	保健・福祉・医療	経済
		行政	ホストタウン	外国人技能実習	オンライン	その他
自治体	日本：神奈川県茅ヶ崎市			海外：アメリカ合衆国 ホノルル市・郡		

【事例紹介】

交流事業の特色

茅ヶ崎市とホノルル市・郡は、行政だけではなく、商工関係やスポーツ関係など、多岐にわたる提携を行っている。これにより、事業実施の機会が増え、両市民の相互の理解が深まるとともに、市民間の交流が促進されている。

現在、姉妹・友好提携を行っているのは、以下のとおり。

- ・茅ヶ崎市とホノルル市・郡の姉妹都市協定
- ・茅ヶ崎市議会とホノルル市議会の友好議会協定
- ・茅ヶ崎商工会議所とハワイ商工会議所の姉妹会議所提携
- ・茅ヶ崎サーフィン協会及び日本サーフィン連盟茅ヶ崎支部とハワイサーフィン協会のフレンドシップ協定

○茅ヶ崎市とホノルル市・郡の姉妹都市協定

ホノルルとの縁は、1935年頃、ハワイ製のサーフボードが茅ヶ崎にやってきたことから始まる。2003年には、茅ヶ崎商工会議所で「茅ヶ崎アロハ委員会」が設立され、「アロハビズ（※）」が始まったほか、翌2004年にはハワイ物産展「アロハマーケット」を初開催し、ハワイとの縁はますます深まった。さらに、2011年にはフラの世界大会が茅ヶ崎市で開かれたが、これはハワイ以外では初の開催だった。

その後、ホノルルで友好ビーチの話が出るなど、両市民間で姉妹提携の機運が高まり、市の観光協会、商工会議所、茅ヶ崎アロハ委員会からも姉妹都市提携を求める要望書が市に提出された。2014年10月、ホノルルにて両市長が協定書に調印した。

（※）クールビズ期間にアロハシャツを着ることで冷房使用を控えるなど環境に配慮するだけでなく、「茅ヶ崎の夏」をゆったりと楽しむ意識を持つこと、さらには茅ヶ崎市の商業・観光の活性化に寄与することを目的とする取組。

（提携の経緯詳細は市HPを参照：

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/profile/1012577/1012777.html>）

○茅ヶ崎商工会議所とハワイ商工会議所の姉妹会議所提携

姉妹都市提携と同時に、茅ヶ崎商工会議所とハワイ商工会議所も姉妹会議所として提携し、経済・商業関係の強化を図っている。締結5周年の際には、茅ヶ崎とハワイの繋がりをイメージさせる商品・サービスを「茅ヶ崎・ハワイ交流応援商品」として登録し、流通させた。

○茅ヶ崎サーフィン協会及び日本サーフィン連盟茅ヶ崎支部とハワイサーフィン協会のフレンドシップ協定

2014年6月に、子供たちの育成を相互の交流を行いながら進めていくこと、主催大会へのサポートなど、幅広い事業を展開していくことを目的に、フレンドシップ協定を締結。ホノルルで「茅ヶ崎市長杯」が行われるほか、茅ヶ崎市でも「ホノルル市長杯」を開催している。

○茅ヶ崎市議会とホノルル市議会の友好議会協定

2016年4月に、様々な市民相互の交流を支援し、両市の繁栄のため互いに協力し、双方実りある活動を推進することを目的に、友好議会協定を締結。アロハシャツを着用して議会に出席する「アロハ議会」の取組等を実施。

交流事業の内容

①ホノルルウィーク

2015年から、茅ヶ崎市と市内の経済団体、文化団体等で構成されるホノルル市・郡姉妹都市交流委員会が主催となって「ホノルルウィーク」を開催。協力店にオリジナルのフラッグを掲げ、独自のサービスやプレゼントを企画してもらう。市民にホノルルを感じてもらうとともに、市内の経済活性化にも寄与している。

2021年は、10月1日～24日に「Aloha nui loa ～たくさんのお愛をこめて～ ホノルルウィーク」を開催。茅ヶ崎・ハワイ交流応援商品として選定されたアロハシャツやお菓子などが当たる企画もあり、新型コロナウイルス感染症の影響で旅行に行けない日々が続く中、街を明るく賑わせた。



街中で掲げられるフラッグ

②茅ヶ崎フェア

2017年、茅ヶ崎商工会議所がアラモアナセンター内「シロキヤ・ジャパン・ヴィレッジ・ウォーク」にて物産展「茅ヶ崎フェア」を開催。

2020年には第3回のフェアが行われ、市内事業者の商品を選定して展示販売を行った。特産品のしらすや和菓子、地元のお米などをはじめとした多くの品が現地の市民に喜ばれている。



2017年のフェアの様子

③派遣・受入事業、姉妹都市交流市民ツアー

＜青少年海外派遣事業＞

2018年から、グローバル社会で生きる青少年の国際感覚を養うと共に、茅ヶ崎市とホノルル市・郡両市の相互理解を深め、国際親善を図ることを目的とした青少年派遣事業を実施。ホノルル市長、在ホノルル日本国総領事への表敬訪問のほか、ハワイ州教育局が主催する多言語交流プログラムに参加し、現地児童との交流を行った。また、ハワイ王朝の歴史と日本との繋がりや日系移民のかつての暮らしぶりを学ぶ視察を実施。現地学校への訪問も行い、グループワークの成果を発表した。

＜ホノルル青少年受入事業＞

2019年にハワイ州教育庁との連携で、ホノルルの青少年の受入事業を実施。茅ヶ崎での滞在中、農業体験や茶道体験を通じて日本及び茅ヶ崎の文化を体験。また、市内の小中学校訪問や児童との交流プログラムを行い、友好の絆を深めた。

＜姉妹都市交流市民ツアー＞

2016年～2019年に、市民から参加者を募り、ホノルルを訪れるツアーを実施。ホノルル市庁舎への訪問や、茅ヶ崎市で物産展を行った際に出展した企業の工場を訪問した。

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止としたが、2021年にはオンライン開催を予定している。



姉妹都市のシンボルにて

④ホノルル給食

2015年から、姉妹都市協定締結日の前後に「ホノルル給食」を実施。食文化を通じて姉妹都市ホノルルを感じ、異文化に対する興味・関心をもつことを目的に、市内の小中学校や保育園で「ロコモコ風ハンバーグ」や「モチコチキン」などのホノルルにちなんだメニューを提供している。



保育園のロコモコ風ハンバーグ

【(参考) 姉妹都市の概要】		
	茅ヶ崎市の概要	ホノルル市・郡の概要
人口	243,620人(2021年10月1日現在)	343,302人(2020年現在)
面積	35.7km ²	177.2km ²
概況	太平洋に面し、温暖な気候であることから、古くから保養地として親しまれていた。都会の利便性と田舎の自然の豊かさを併せ持ち、暮らしやすさ・バランスの良さが魅力の一つである。太平洋に面していることから、サーフィンなどのマリンスポーツが盛んである。	ハワイ州の州都であり、ハワイ州およびアメリカの太平洋地域における経済、政治、文化の中心地。太平洋上の交通の要所のため、港や軍事基地、国際空港がある。また、ビーチや観光名所もあり、世界でも有数のリゾート地として知られている。
【姉妹都市交流に係る周辺情報】		
提携年月日	2014年10月24日	
姉妹都市提携の経緯	両市において盛んなフラ・サーフィン等を通して市民交流があったこと、アロハマーケット等を通してハワイ州観光局との関わりがあったこと等を機に、ホノルルで、友好ビーチの話が出た。それに対し、ビーチ提携でなく、姉妹都市として話を進めようということになり、相互市長の親書を交わす等の交流を続けた。両市長が相互に訪問するなどして、調印の意向を確認し、正式調印となった。	
今後の展望、課題等	<p>人と人との直接的な交流ができないという現状のなか、手紙やモノ、リモート等を活用した新しいカタチでの交流を実施。交流の手法を模索するなかでは、双方の環境の整備や時差等が課題として感じている。</p> <p>一方で、これまで行われてきた様々な交流により培われた「身近な姉妹都市交流」を希薄化させないよう、海やアロハ、サーフィン、フラなど姉妹都市共通の風土や文化を活用した取り組みを実施している。</p> <p>今後は、単に国際交流という側面に加え、本市の魅力の一つとしてアフターコロナ禍の経済活動の発展に繋げていきたい。</p> <p>(茅ヶ崎市秘書広報課)</p>	
(作成年月：2021年10月)		

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。